



本学協定校留学の場合 ※本学の事務手続き上はこの場合のみ「留学」と称する

（１）留学前に提出が必要な書類

留学を希望する月の１ヶ月以上前に下記の書類をエリア支援室に提出してください。関係書類はエリア支援室で受け取ることができます。

☐ 留学願：保護者とクラス担任または指導教員等の押印が必要です。

☐ 留学計画書

☐ 海外渡航届：クラス担任または指導教員等の押印が必要です。

（２）留学後に提出が必要な書類

留学期間終了後から１ヶ月以内に、下記の書類をエリア支援室に提出してください。（継続履修については、２週間以内）関係書類はエリア支援室で受け取ることができます。

（ア）全員提出

☐ 履修報告書

☐ 履修（留学）の成果（400字程度）

☐ 履修（留学）先大学等が発行した成績証明書１通（コピー不可）

（イ）単位認定を希望する場合

☐ 留学先大学等で履修した科目のシラバス

☐ 留学先大学等で履修した科目のシラバスの和訳

☐ 他大学等において修得した単位等に係る単位認定申請書

（ウ）継続履修を希望する場合（留学期間終了後２週間以内に提出）

☐ 継続履修申請書 ※TWINS から出力

休学して留学する場合（交換留学ではない留学）

（１）休学留学前に提出が必要な書類

休学留学を希望する月の１ヶ月以上前に下記の書類をエリア支援室に提出してください。関係書類はエリア支援室で受け取ることができます。

☐ 休学願：保護者とクラス担任または指導教員等の押印が必要です。

☐ 海外渡航届：クラス担任または指導教員等の押印が必要です。

(2) 休学留学後に提出が必要な書類

休学期間終了前1ヶ月前に復学届（保護者とクラス担任または指導教員等の押印が必要）を提出してください。また、休学期間終了後から1ヶ月以内に、下記の書類をエリア支援室に提出してください。（継続履修については、2週間以内）関係書類はエリア支援室で受け取ることができます。

(ア) 全員提出

- ☐ 履修報告書
- ☐ 履修（留学）の成果（400字程度）
- ☐ 履修（留学）先大学等が発行した成績証明書1通（コピー不可）

(イ) 単位認定を希望する場合

- ☐ 留学先大学等で履修した科目のシラバス
- ☐ 留学先大学等で履修した科目のシラバスの和訳
- ☐ 他大学等において修得した単位等に係る単位認定申請書

別記様式第8号

留学願

平成 年 月 日

筑波大学 学群長 殿

本人

入学年度

所属・年次

学籍番号

氏名

生年月日

現住所

電話番号

奨学金受給状況

平成 年度（入学、第 年次編入学・転入学・再入学）

学群 学類 第 年次

⑩

年 月 日生

〒

()

日本学生支援機構（奨学金番号）：

その他奨学金（奨学金名）：

下記により留学したいので、許可くださるようお願いします。

記

- 1

留学の事由

・()に関する科目を履修するため

・その他()
- 2

留学先の大学等名（国名）

()
- 3

留学の期間

平成 年 月 日から平成 年 月 日まで 月間

（前留学期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで 月間）

※ 留学計画書を添付してください。

保護者等 確認印

クラス担任 等承認印	授業料確認印	
	第1期	第2期

留 学 計 画 書

所属・年次	学群	学類	第	年次
学 籍 番 号 氏 名				
留 学 の 目 的				
履修予定授業 科目、内容等				
留学先の大学等	大学等名： 国名： 大学等の住所： 大学等の電話番号：			
留 学 期 間	平成 年 月 日から平成 年 月 日まで（ 月間）			
留学中の居住地	住 所： 電話番号：			
留学中の連絡先 （国 内）	氏 名： 住 所： 電話番号等：			
留学経費の出所	（ ）奨学金等受給 （奨学金等名： ） （ ）私 費			

平成 年 月 日

学 群 長 殿
研究科長 殿学 群
研究科学類 年次
専攻 年次

学籍番号

氏 名

T E L

海 外 渡 航 届

下記のとおり、海外へ渡航しますのでお届けします。

記

渡 航 先	
渡 航 目 的	
渡 航 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日
渡 航 連 絡 先	住所 : TEL : e-mail :
国 内 連 絡 先	氏名 : 本人との関係 : 住所 : TEL :
備 考	

クラス担任又は指導教員 _____ 印

注) 海外渡航する場合には、本届を事前に支援室へ提出してください。

別記様式第1号

休 学 願

平成 年 月 日

筑波大学 学群長 殿

本人 入学年度 平成 年度(入学、第 年次編入学・転入学・再入学)
 所属・年次 学群 学類 第 年次
 学籍番号
 氏 名 ⑩
 生年月日 年 月 日生
 現住所 〒
 電話番号 ()
 奨学金受給状況 日本学生支援機構(奨学金番号) :
 その他奨学金(奨学金名) :

下記により休学したいので、許可くださるようお願いします。

記

1 休学の事由

※ 休学の事由については、具体的に記述してください。なお、医師の診断書等休学の事由を証明する書類がある場合は、それを添付してください。

2 休学の期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

前休学期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

3 休学中の居住地 住 所 :

電話番号 :

保護者等 確認印

クラス担任 等承認印	授業料確認印	
	第1期	第2期

別記様式第5号

復学届

平成 年 月 日

筑波大学 学群長 殿

本人	入学年度	平成	年度（入学、第	年次編入学・転入学・再入学）
	所属・年次		学群	学類 第 年次
	学籍番号			
	氏名			⑩
	生年月日		年 月 日生	
	現住所	〒		
	電話番号		()	
	奨学金受給状況		日本学生支援機構（奨学金番号）：	
			その他奨学金（奨学金名）：	

下記により復学しますので、お届けします。

記

- 1 復学する年月日 平成 年 月 日
- 2 休学した事由
- 3 休学許可の期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

（休学の事由が疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。）

保護者等 承認印

クラス担任 等承認印

別記様式第6号 (第15項関係)

他大学等において修得した単位等に係る単位認定申請書

平成 年 月 日

学群長 殿

所 属	学群	学類	年次
学籍番号			
氏 名			

- 2 国立大学法人筑波大学学群学則第37条

の規定により単位の認定を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

単位の修得等を行った大学等			単位の修得等を行った時期	添付する書類
大学	学部	学科	1 筑波大学在学中 (年 月 日～ 年 月 日)	1 成績証明書
			2 筑波大学入学前 (年 月 日～ 年 月 日)	2 修了(在学)証明書 3 その他

認定を希望する授業科目				認定の対象となる他大学等において修得した単位等			
科目区分	科目番号	授業科目名	単位数	授業科目名	単位等	評価等	備 考

(記載上の注意)

- (1) ・国立大学法人筑波大学学群学則第 36 条（他大学等における授業科目の履修等）
・国立大学法人筑波大学学群学則第 37 条（入学前の既修得単位等）
- (2) 右欄に記載する授業科目に対応させて左欄の認定を希望する該当授業科目の科目区分、科目番号、授業科目名及び単位数を記載してください。

記

1 国立大学法人筑波大学学群学則第 36 条	}	の規定に基づき、上記のとおり筑波大学において修得又は履修したものとみなし単位を認定する。
2 国立大学法人筑波大学学群学則第 37 条		

学群長

単位の修得等を行った大学等			単位の修得等を行った時期		
大学	学部	学科	1 筑波大学在学中 (年 月 日～ 年 月 日)		
			2 筑波大学入学前 (年 月 日～ 年 月 日)		

別記様式第5号（第15項関係）

履 修 報 告 書

平成 年 月 日

筑波大学 学群長 殿

所属・年次： 学群 学類 年次

学籍番号：

氏 名： 印

下記のとおり履修（留学）を終了しましたので、報告いたします。

履修（留学）先 大学等名（国名）				
履修 留学 許可期間	平成 年 月 日から平成 年 月 日まで（ ヶ月間）			
履修した科目名	履修期間	週当たり 授業時間数	単位数	評価
履修（留学）の成果	（別紙のとおり）			

- （備考） 1 履修（留学）先大学等が発行した成績証明書を1通（コピー不可）添付してください。
 2 単位認定を希望する場合は、別途単位認定申請書及び授業概要がわかる書類を提出してください。

(別紙)

履 修 (留 学) の 成 果

(400字程度)

危機管理対応マニュアル

I 渡航前に行う事項

1. 留学・研修等に伴う危機管理に対する心構えと準備すべき事項

- 危機発生の可能性をあることを十分認識しておく。
- 危機発生時のシミュレーションを行う。
- 健康状態のチェックをする。(保健管理センターなどとの相談や健康診断を受ける。)
- パスポートと航空券をコピーして、現物とは別に保管する。クレジットカード番号を控える。

2. 保険への加入と確認すべき事項など

- 留学・研修中の危機に備え、海外旅行傷害保険等に参加する。
- 航空券を手配した旅行会社や航空会社の危機発生時の補償等を確認する。
- 渡航前に、加入した保険証のコピーを比較文化学類長室へ提出する。

3. 国際情勢、渡航先の安全性についての情報収集の必要性

- 国際情勢の変化や動向について把握する。
- 渡航先の現地安全情報を把握する(例:外務省・在外公館のHPを活用)。
- 渡航先の感染症情報を把握し(例:厚生労働省検疫所のHPを活用)、必要な予防接種を受ける。
- 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておく。

●国際情勢や危険情報

- ・ 外務省のホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- ・ 外務省 海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ・ 国際協力機構(JICA) <http://www.jica.go.jp/>

●海外渡航者のための医療情報

- ・ 世界の医療事情(外務省公館医務官情報) <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>
- ・ 厚生労働省のホームページ <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 厚生労働省検疫所のホームページ <http://www.forth.go.jp/>
(For Travelers' Health [FORTH] 「海外で健康に過ごすために」)
- ・ 国別感染症情報 <http://www.forth.go.jp/moreinfo/>
- ・ 海外渡航のための予防接種(ワクチン) <http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>
- ・ 国立感染症研究所(NIID) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/>
- ・ 感染症疫学センター(IDSC) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc>
- ・ 労働者健康福祉機構のホームページ <http://www.rofuku.go.jp/>

4. 日本出発当日(前日)に行うべき事項

- 出発当日の緊急連絡先(旅行会社や航空会社)を事前に確認し、飛行機の発着時間などに関する最新情報を空港のホームページなどで確認しておく。
- 気象状況などにより発着時間が大幅に変更となった場合は、離陸情報などを航空会社へ問い合わせた上、変更後のスケジュールを留学・研修先及び比較文化学類に知らせておく。

Ⅱ 渡航先で行う事項

1. 在外公館への在留届提出と危険情報の把握

- 3 ヶ月以上の留学・研修の場合は、災害やテロ等の緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるよう、在外公館に在留届を届け出る(旅券法により、提出が義務づけられている)。また、治安情勢が不安定な国や地域への渡航の場合は、滞在期間が 3 ヶ月未満でも届け出るようにする。
- 在外公館の HP など、定期的に留学先の危険情報について把握する。

2. 留学・研修先での危機管理体制把握と比較文化学類への連絡

- 留学・研修先で危機管理に関する情報収集を行い、オリエンテーションなどに必ず参加する。
- 留学・研修先等で加入する危機管理に関する保険の種類や内容を把握し、適宜加入する。

3. 自己の危機管理

- 緊急連絡先などが書かれている「留学・研修届」を外出の際は必ず携帯する。
- 緊急時の家族への連絡体制を確認しておく。
- 緊急時の比較文化学類への緊急連絡体制を確認・準備し、留学・研修先等の関係者に緊急時の比較文化学類への連絡先を知らせておく。
- 海外渡航中は自動車等の運転はしない(違反や事故の場合の手続き、賠償責任などの問題あり)。

Ⅲ 危機に遭遇した場合の対応

1. 留学・研修先等の緊急連絡先へ連絡し、その指示に従って行動する。
2. 比較文化学類へ連絡・相談する。なお、自ら連絡できない場合などは、留学・研修先や在外公館等の関係者に比較文化学類への連絡を依頼する。
3. 在外公館の連絡・指示に従って行動する。
4. 家族へ連絡する。
5. 保険会社にも連絡する。
6. 盗難事故にあったときは、現地の警察に連絡する。

緊急連絡先

筑波大学生命環境エリア支援室 学生支援本部防災センター

+81-29-853-4804

+81-29-853-2079(24時間対応)

+81-29-853-6751

編集後記

筑波大学には非常に多くの協定校や留学のチャンスがあります。けれども、あまりに膨大すぎて、その全体像がなかなかクリアに見えていないのが現状でした。そこで比較文化学類では留学に関するハンドブックを作成することになりました。

とはいえ、一年という限られた委員会活動のなかでのこと、まずは近年新たに設立されたグローバル・コモンズ、スチューデント・コモンズの皆様、学内の各種留学プロジェクトを担当されている先生方に情報を教えていただき、それに加えて比較文化学類の卒業生、在校生の皆さんがこれまでどのように留学を体験されてきたのか、具体的なお話をお伺いし体験記としてその貴重な経験を共有できたらよいのではないか、ということになりました。

本ハンドブックは、これに賛同し、お忙しいなか貴重なお時間を割いて執筆してくださった皆さまのおかげでかたちになりました。心から感謝申し上げます。また本ハンドブックの作成にあたり、スチューデント・コモンズの情報を提供してくださった江口真規さん、構想、編集に携わり、素晴らしいアイデアを提案し大切な時間を割いてくださった駒居幸さん、大石茜さん、本当にありがとうございました。

とはいえ、本ハンドブックはまだまだ留学に関する「はじめの一歩」にすぎません。これからまた新たにたくさんの新しい情報や経験を積み重ね、みなで共有していくことができればと思っています。

比較文化学類国際交流委員会

比較文化学類 留学ハンドブック
筑波大学人文・文化学群比較文化学類
2015月3日31発行

表紙、中表紙: allvectors.com